

淡江大學 91 學年度進修學士班轉學生招生考試試題

10

30-1

系別：日本語文學系三年級

科目：日 語 翻 譯

| | |
|-----------|--------|
| 准帶項目請打「V」 | |
| | 簡單型計算機 |

本試題共 二頁

本試題雙面印製

一、次の諺を日本語に訳しなさい。真字に振り仮名をつけなさい。(20%)

1. 百聞不如一見。
2. 欲速則不達。
3. 真人不露相。
4. 三天打魚、兩入曬網
5. 井底之蛙

二、下線の部分を中国語に訳しなさい。(50%)

1.

案内の美しい若い保母さんは、7歳の部屋で一人で何かおもちゃをいじっていた子供を指して、

「この子はもう7年も、ここで暮らしているのですよ。」

とわたしに言った。その時ふとふりかえった金髪の少年のひとみがなんと寂しそうだっことか¹。わたしはその¹ っこそうな、そして寂しい憂いの色さえ見える、まつげの長い水色のひとみに、氷の平面 いるような孤独の訴えを見て、胸をつきさされるようだった²。この子は、とても自分で³ 言えないけれども、どんなぼろの汚れた服を着ていてもいいから、母のそばにいたいの であろう³。幼い子にとって母の愛がどんなに恋しいものか⁴。どんなに文明が進み、社会障が行き届き、どんなに物質的に恵まれても、母の愛をつくり出すことはできないのである⁵。

2.

夏目漱石は幼少期に安んじた環境で育たなかったため、不安が強く、不安の裏返しとして、生涯、勤勉と努力を続けたと考えられる⁶。漱石は33歳から2年間英国へ留学しイギリス人と自分の文学に対する考え方の違いの大きさに気づいて真剣に悩み、そこから、自分に忠実であることという意味の『自己本位』という考え方を発見する⁷。漱石の「自己本位」、すなわち、個人主義とは、「自分の幸福のために自分の個性を発展して行くと同時に、その自由を他にも与えなければならない」という意味である⁸。漱石はこの「自己本位」という考え方によって不安がなくなり、強くなったという⁹。漱石は自分のことだけを考え、人のことを考えないエゴイズムを、近代文明がもたらした『悪』と考え、生涯にわたって、人間のエゴイズムの問題などを扱った作品を発表したのである¹⁰。

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(30%)

子供というのは、例外なく好奇心を持っている。人間だけではない。動物でも子供は好奇心のかたまりである。それは本能に近いのかもしれない。動物学者は①それを探索と呼んでいる。むろん、動物の探索は食物を探しだすという目的から備わったものであろう。しかし、かならずしもそれだけではない。彼らは探索そのものを愉しんでいる②ふしがあ

1

30

淡江大學 95 學年度進修學士班轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：日 語 翻 譯

30-2

| | |
|-----------|--------|
| 准帶項目請打「V」 | |
| | 簡單型計算機 |

本試題共 2 頁

るという。動物学者日高敏隆氏によれば、「チンパンジーに探索を禁止すると、<退屈の③あまり>精神的な障害をきたし、病気になったり異常な行動をはじめたりして死んでしまう」のだそうである。

人間の好奇心も、もとをただせば動物の探索と根はおなじなのであろう。人間の場合は、同氏によると、「他の動物の場合のように、<生きるための探索>ではない」とのことだが、やはり、どこかで「生きる」こととつながっているのだと思う。まあ、その由来は動物学者に任せるとして、いずれにしても、人間の作りだした文化なるものは、人間の好奇心が生んだものといってよい。文明や文化は、好奇心の体系なのである。だから好奇心を失うことは、すなわち文化を衰弱させることであり、ひいては生命力を枯渇させることになる。④「好奇心とは、言ってみれば、人間の生命力の関数」なのであって、だからこそ、生命力が横溢している子供は、やたらと好奇心が強いのだ。老人になればなるほど好奇心は失われてゆく。それは老人がものごとを体験しつくした結果というより、やはり、生命力に関係しているように思われる。

- ①「それ」とは何をさすか。a~dの中から最も適当なものを1つ選びなさい。
a 子供 b 好奇心 c かたまり d 本能
- ②「ふし」のここでの使われ方と同じものをa~dの中から1つ選びなさい。
a 竹にも指にもふしがある。
b 先生はその詩にふしをつけて歌った。
c この作品は彼にとって大きなふしとなった。
d 彼女の言動にはどこかあやしいふしがある。
- ③「あまり」のここでの使われ方と同じものをa~dの中から1つ選びなさい。
a 三十あまりの上品な女性が訪ねて来た。
b あまり心配すると、体に良くないですよ。
c 僕は驚きのあまりしばらく声も出なかった。
d 家族を養ってあまりある給料が欲しい。
- ④「好奇心とは、言ってみれば、人間の生命力の関数」とはどういう意味か。
a 生命力の強さによって好奇心の度合いも決まるということ
b ものごとの体験の数だけ生命力も増していくということ
c 好奇心が人間の文明や文化を生み出すということ
d 好奇心が人間だけに見られる探索だということ
- この文章の内容と合わないものはどれか。a~dの中から1つ選びなさい。
a 子供というのは、人間も動物も生命力があふれている。
b 動物というのは、生きるためにだけ本能で探索をする
c 好奇心というのは、成長するにつれて少なくなる。
d 文化というのは、人間の好奇心の産物である。